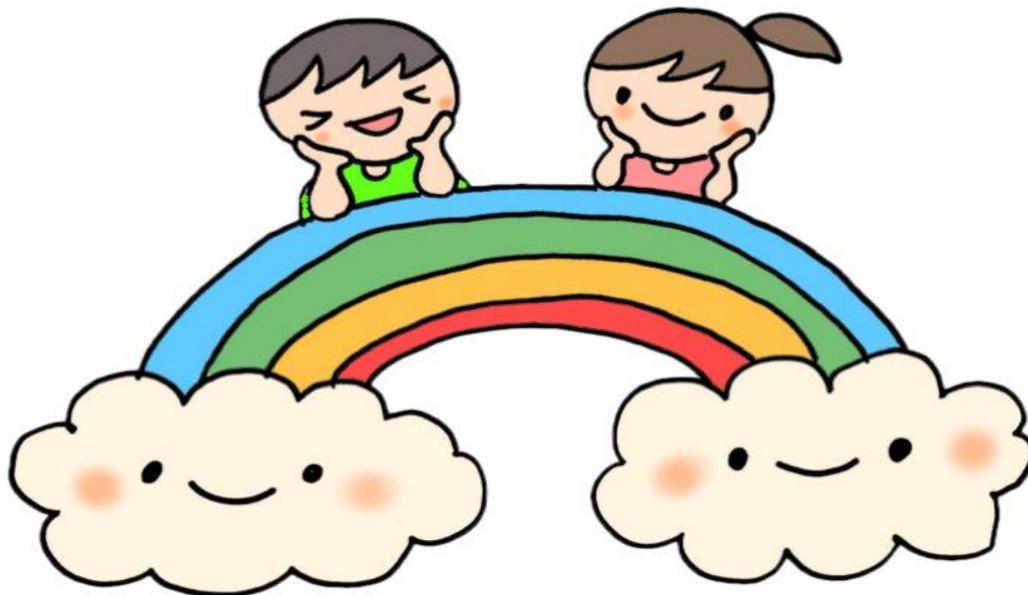


しょうがいのある子の受け入れ ～学童保育指導員のみなさんへ～



も く じ

- ①入所の問い合わせがあったら
- ②施設見学に来てもらいましょう。
- ③保護者との面談－1
- ④保育園への見学
- ⑤受け入れに向けた会議
- ⑥保護者との面談－2
- ⑦受入れの決定と確認
- ⑧保護者・子どもへの確認
- ⑨受け入れの準備
- ⑩その後の保育のすすめかた

はじめに

「しょうがい児部会」に関わりながら、学童保育のしょうがいのある子の保護者の話を聞いていると、さまざまな課題や問題点が鮮明になってきました。

子どもも保護者もそれぞれに問題点を感じているもののしょうがいのある子の保護者には、「学童保育に入っているだけでもありがたいのに、学童保育指導員さんの頑張りを考えたらこれ以上言えない。」といった遠慮があることで、問題点がそのまま放置されて、子どもの生きづらさや保護者の悶々とした思い(諦め?)につながっています。

悩んでいる保護者の話を聞く中で、原因が最初(入所時)のボタンの掛け違いによるものが大きいということがわかってきました。30年前の名古屋市の学童保育ではあたりまえのように行われていた「保育所見学」や「保護者との事前面談」が現在はあまりおこなわれていないことがわかってきました。

現在『障害者差別解消(禁止)法』により、学童保育でしょうがいのある子の入所希望を特別な理由がない限り拒否することはできません。また『障害児受入推進助成』が創られ「しょうがいのある子に対応する学童保育指導員の人件費」が補助金で保障されています。

「しょうがいのある子」の学童保育へのスムーズな受け入れが行えるようにと本書を作りました。参考にしていただけると幸いです。



入所の案内

夏休み～9月頃に行われる『入所アンケート』や、10～11月の就学時健診(学童保育見学)、11～12月の合同入所説明会等、また電話での問い合わせが学童保育での入所希望の把握の第一歩になっていると思います。

①入所の問い合わせがあったら

- ・氏名と保育所・幼稚園名や連絡先を聞いておきましょう
- ・入所説明会まで待たずに、すぐに施設見学に来てもらいましょう

②施設見学に来てもらいましょう。

しょうがいのある子の保護者とお子さんに施設見学に来てもらいましょう。

- ① 子どもの動きや、保護者の言葉かけのようすをよく見ましょう
- ② ロッカーや下駄箱の高さは合っているか確認しましょう
- ③ 着替え置き場はどうか確認しましょう
※トイレの近くに置き場があると便利です
- ④ おやつと一緒に食べて、食べる様子や、手洗いの様子などを確認しましょう。
- ⑤ 好き嫌いを聞きましょう。
- ⑥ トイレを見てもらって、排泄ができそうか判断してもらいましょう。
- ⑦ トイレの高さや手洗い、台所のシンクの高さも踏み台が必要かどうか確認しましょう。

③保護者との面談－ 1

面談の際は別紙の「しょうがいのある子対応の個人カード」を参考に質問をしましょう。

食物アレルギーの子は、冊子『アレルギー対応の手引き』の「アレルギー疾患対応表」も使って話し合しましょう。

- 1) 面談にあたって、
 - ① お茶でも飲みながら、お話しする雰囲気大切にしましょう。
 - ② 質問攻めにしないように、ゆっくりお話ししましょう。
- 2) 現在通っている保育所等*1の見学を希望しましょう。
 - ・保護者を通じて園長先生等責任者の見学許可をいただきましょう。
 - ・許可が出たら園長先生等責任者に連絡して、見学日・時間の設定をしましょう。
 - ・できれば昼食を含む時間帯2時間位がおすすめです。(10:30~12:30等)
 - ・見学は必ず、複数の学童保育指導員で行きましょう。
 - ・受け入れが決まったら、全職員が保育所等でのようすを少しでも見学しましょう。

*1: しょうがいのある子の就学前通所施設は保育所以外にも、幼稚園、認定こども園、児童発達支援センター、医療型児童発達支援センター、療育センター、知的障害児通園施設、難聴幼児通園施設、肢体不自由児通園施設等があります。

④保育所等への見学

保育所等への見学で見ておきたいこと。

1. 同じ保育所等から学童保育への入所希望者がある場合は、その子の確認。
2. 遊び時間や生活時間の保育士のしょうがい児への言葉かけ。
3. 遊び時間や生活時間のクラスの子としょうがい児の言葉かけやあそびのようす。
4. あそび から給食への切り替えの時の言葉かけや対応のようす。

(チャンスがあれば)排泄のようす

(衣類の着脱～保育士のかかわり方～手洗い)

5. 給食のようす (他の子・保育士の言葉かけ) 手洗い～配膳～片付け
6. 園長先生とのお話
 - ・ 送り迎え時のようす。その時間
 - ・ 食べ物の好き嫌いなど
 - ・ これまでの発達のようすと現在の目標
 - ・ 申し送り事項

⑤受け入れに向けた会議

***運営委員、保護者会役員、学童保育指導員複数で構成。**

- 1) 『入所申込書』(学童保育ごとの資料)の確認
- 2) 『しょうがいのある子対応の個人カード』(別紙資料)の確認
- 3) アレルギー疾患対応表の確認
『学童保育指導員のためのアレルギー対応の手引き』の冊子活用
※2018年県内全学童保育クラブに配布、改訂版を販売中
- 4) 保育所等見学のような確認(学童保育指導員からの報告)
- 5) 学童保育の子どもの現状分析
- 6) 受け入れにあたって課題
- 7) 学童保育で準備することは何か
 - ①施設で不足しているもの、必要な備品等
 - ②しょうがいの知識を学ぶ
- 8) 保護者に協力してほしいこと
- 9) 受け入れにあたっての学童保育指導員体制と担当者
当面、主として対応する学童保育指導員 休みや別対応の場合のサブ担当者



【豆知識】しょうがいのある子どもに対応する学童保育指導員を配置すると

「障害児受入推進助成」の対象になります。申請して補助金をもらいましょう。

2020年度の「障害児受入推進助成」は、年額1,900,000円です。

(名古屋市では158,330円が毎月支給されます。)

3人以上受け入れ学童保育指導員をもう1人配置した場合は「障害児受入強化推進助成」が「障害児受入推進助成」に加えて、年額190万円予算化されています。

- 学童保育指導員が未経験であること不安などがあれば素直に伝え、保護者から希望があれば、近くの受け入れ可能な学童保育を紹介しましょう(事前に紹介する可能性がある近くの学童保育とその旨話し合っておきましょう)。
- ・入会申込書の確認

⑥保護者との面談ー2

- ・受け入れに向けた会議の報告
- ・学童保育の現状報告
- ・学童保育として最大限できることの確認
- ・保護者や子どもたちへ『しょうがい』のことを話してもいいかの確認
- ・保護者に理解や協力してほしいことの確認

保育とカミングアウト（しょうがい告知）

「この子はしょうがいがあるからね」「うちの子はしょうがいのある子です。御迷惑をおかけします」などカミングアウトしなければ保育ができないわけではありません。

役員から「保護者会で説明してください」と伝えることは控え、保護者の意思をお伺いしましょう。

初めてのところで、初めて会う人たちにカミングアウトすることは非常に勇気があることです。

通常学級にいる場合、子ども自身が自分のしょうがいを知らされていないこともあります。慣れた環境で、信頼関係ができてからどうするかを話すことが重要です。

まず親子と役員との関係づくり、親子と学童保育指導員との関係づくりを大切にしましょう。

⑦保護者会で入所の確認 （保護者の意向を踏まえて、保護者会で確認を。）

- ・ 保護者会で経過を簡単に報告
- ・ 入所にあたって『しょうがいの理解』を全保護者に伝える。
コミュニケーション。言葉のかけ方。
した方がいいこと。してほしくないこと。
- ・ 入所にあたって、学童保育のことを再確認しましょう！
子どもたちは、思い通りにいかない『葛藤』をかかえていること
子どもたちが『生きづらさ』を感じない楽しい学童保育づくりをすること



⑧子どもたちへの確認

- ・ 『しょうがい』や『重い病気』はその子が悪いのではないこと。
ましてや保護者（お父さんお母さん）が悪いのでもないこと。
誰かが数%の確率でなること、誰がなってもおかしくないこと。
- ・ からだや心に『こまってること』を抱えている子は、ひとりぼっちでさびしい気持ちのことが多いこと。
- ・ そんな気持ちの子もみんなが、一緒に楽しく生きてゆくこと。
- ・ みんなはどんなことができるだろう。…話しあって確認することの重要性



⑨受け入れの準備（以下のことを確認しましょう）

- ・室内の段差（転びやすいため）
- ・下駄箱の高さ
- ・鞆ロッカーの高さ
- ・トイレの戸の開け閉め
- ・水道の蛇口の高さ、蛇口のレバー式
- ・食器・コップ・はし・スプーン
- ・ティッシュペーパーや除菌タオルの置いてある場所
- ・連絡袋のチャックの大きさ
- ・落ち着いてゆっくりできるスペース



⑩その後の保育のすすめかた

- ・保護者と密に連絡しあう
- ・学校、放課後等デイサービス、支援センター、医療機関との連携づくり
- ・保育体制の見直しや確認



名古屋市学童保育連絡協議会

しょうがい児部会

2020年10月1日 発行

名古屋市熱田区沢下町 9-7-308

(TEL) 052-872-1972

(FAX) 052-308-3324

Email : info@gakudou-nagoya.org